

イ) グリーンイノベーションによる持続可能な社会の実現

3. 自然共生社会実現のための流域・社会基盤管理技術に関する研究

(8) 河川生態系の保全・再生のための効果的な河道設計・河道管理技術に関する研究

研究期間：平成23～27年度
プロジェクトリーダー：水環境研究グループ長

【研究の概要】

本研究では、河川生態系の保全・再生のための効果的な河道設計・河道管理について、低水路、高水敷、河床の形状や環境に着目して、物理環境変化による河川生態系への影響を解明するとともに、物理環境等を指標とした河川環境の評価技術の開発、生物生息場を考慮した河道設計・河道管理技術の開発を行います。

このため以下の研究目標を立てて研究を実施していきます。

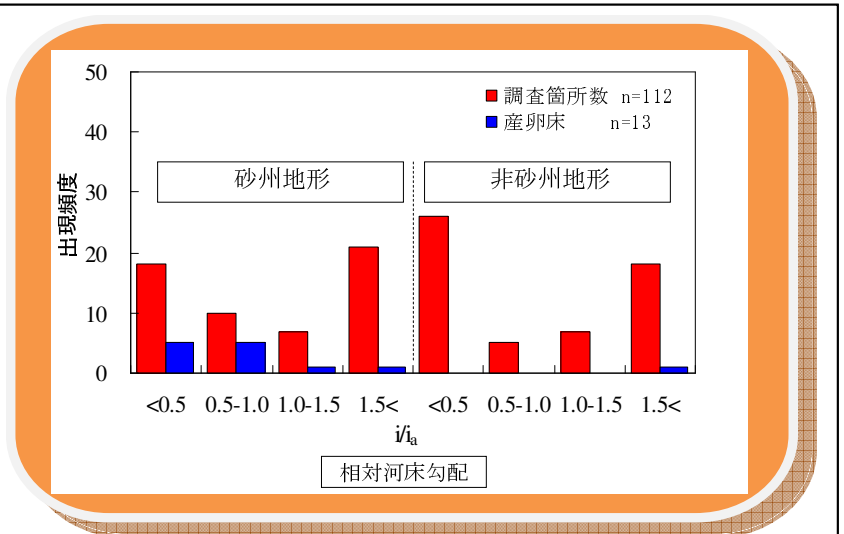
研究目標は次のとおりです。

- ①物理環境変化による河川生態系への影響解明
- ②生物生息場を考慮した河道設計・河道管理技術の開発

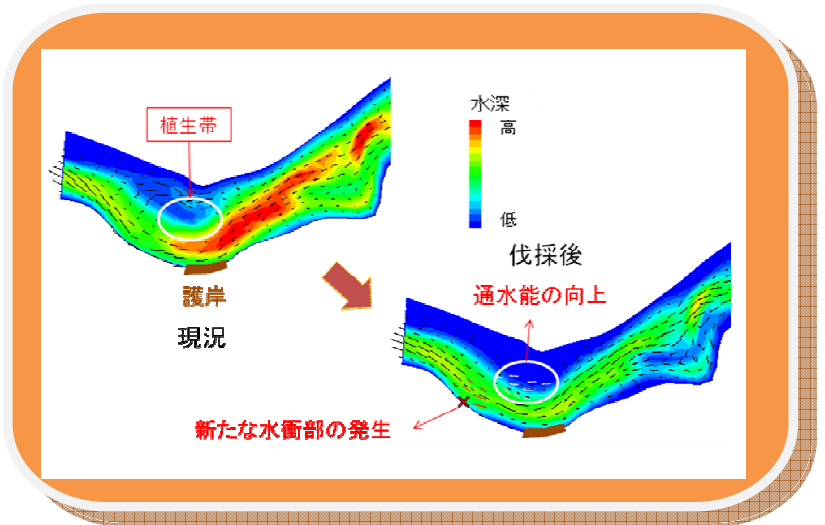
人為的改変等による生物に与える影響予測がより適確に行うことができるとともに、適切な河川環境・生態系の評価・設計・管理に資するため、汽水域の生物生息環境、氾濫原環境（ワンド・たまり）再生、サケ科魚類の産卵環境、河道内の樹林管理、多自然河岸保護工といった観点からの河川生態系への影響解明、河道設計・河道管理技術の開発を行います。

- ③河川環境の評価技術の開発

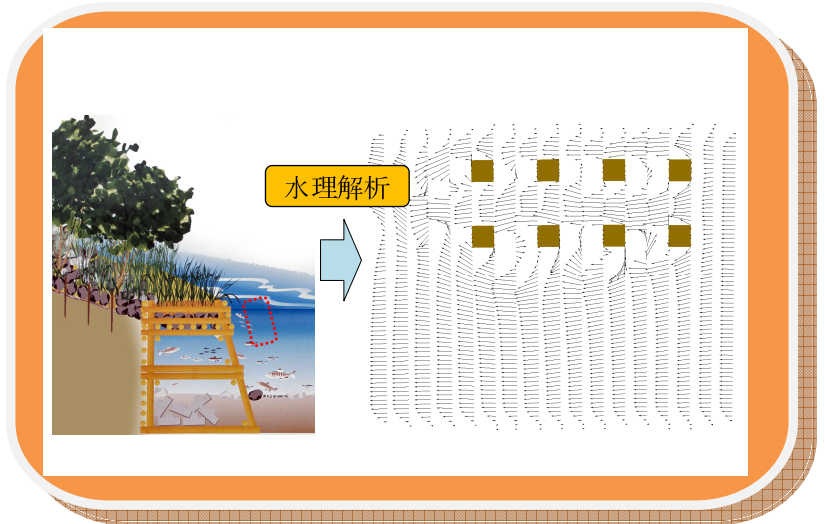
生物生息場等のより適切な評価を可能にするとともに、河川環境の総合的な評価を可能にするため、物理環境等を指標とした河川環境の評価技術を開発します。



サクラマス産卵床の河川地形毎出現数



樹林伐採による周辺環境への影響



多自然河岸保護工の水理的機能評価